

アプリ(各種)の変更箇所について

講座のサポートでアプリの変更箇所を記録してきましたが、まだまだ把握できていない事が多く、今回、アプリで変更になったかなと思われる箇所を記録したものと体験をまじえながら、テキストにまとめましたので発表させて頂きたいと思います。

★テキスト作成について

*テキストの図は、ネット検索で調べたもの、又は借りられたスマホでの図は、スクショで作成、自分のスマホの図もあります。

調べたり、体験した勉強のアプリや項目は下記の通りです。

※googleマップ タイムライン ライブビュー リスト保存 その他
親機能や変更箇所

※googleフォト アルバム作成 編集（消しゴムマジック）

※電源キー長押しについて
電源ボタンの操作
スクショの方法（機種別）

<https://www.itmedia.co.jp/mobile/articles/2303/25/news023.html>

引用URL

<https://chiilabo.com/2024-06/smartphone-power-button-press-functions-cautions/>

引用URL

Googleマップ便利な使い方 変更箇所 使い方（自分が利用しない車での移動 他）

★googleマップ

(今の画面)



画面下部のボタンが3つになっています
変わっています。経路とお知らせのボタンは
今はありません

(以前の画面)



画面下部のボタンが5つです。

★タイムライン機能(2023年10月頃開始)

※R6,9に講座（NHKニュース防災アプリ）のサポーター時、受講生さんが位置情報オフにされていて、マップ表示（現在地表示ができない）が出来なかった。

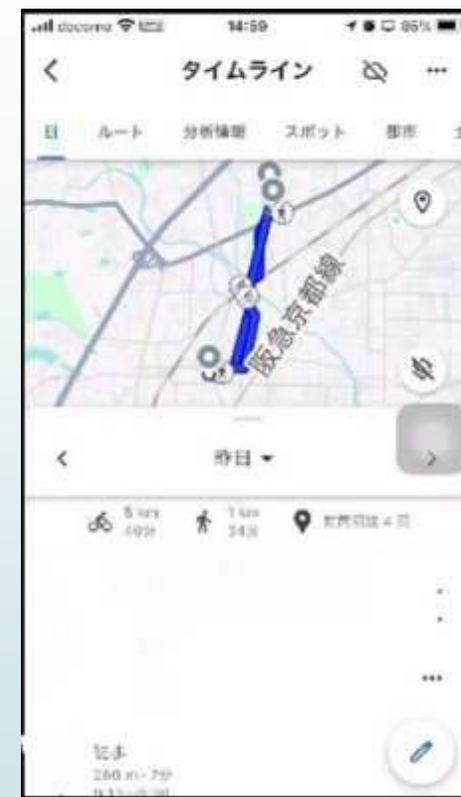
意図的にオフにされていた。（理由はプライバシー侵害）この時にマップのタイムラインの事を知る

自分のスマホ（アイホン）の設定
◎タイムラインはオフになっていた（現在は勉強の為にオンにしている）

（設定方法）

1. 位置情報サービスをオンにする：
スマホの設定で位置情報サービスを常にオンにする。

（私は、「アプリの使用時のみ」に設定→今は常にオンに設定）



※プライバシー設定の調整

○ プロフィール写真をタップし、「シークレットモードをオンにする」を選択する

★リアルタイム位置共有

リアルタイムで現在地を共有

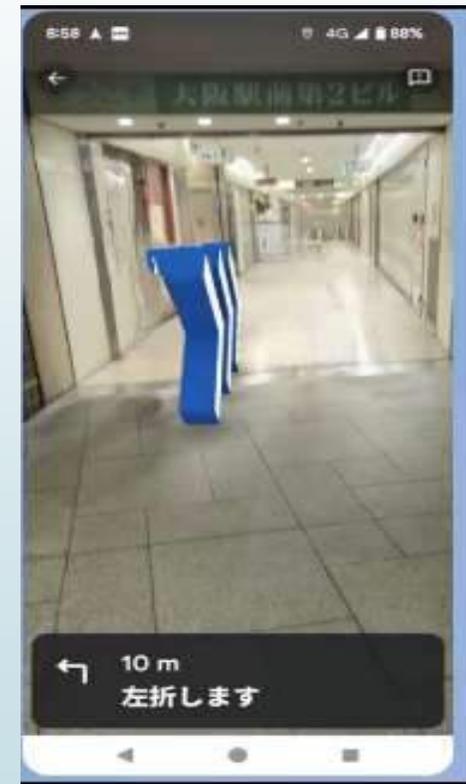


★AR経路案内

ライブビューで経路案内
私はあべのハルカスへ行った
時に試しました。



ライブビューで経路案内
JR大阪地下でも出来る
(友達が試した写真,消しゴムマジックで人物削除)



<https://www.youtube.com/watch?v=4JPagW1cOdo>

引用URL

★イマーシブビュー

イマーシブビューは、衛星写真とストリートビューを組み合わせ、デジタルモデルを表示する機能。目的地の周辺環境をまるでドローンの空撮映像のように確認できる。

下記はイマーシブビューの一例です。（大阪城、エッフェル塔、バッキンガム宮殿）



★AIとARを活用したLens in Maps

「Lens in Maps」は、スマートフォンのカメラ（Googleマップの検索バーにあるレンズアイコンをタップ）を使って周囲の情報をリアルタイムで表示する機能
近くのATM、駅、レストラン、カフェなどの情報がカメラを通して表示され、初めての場所でも簡単に探索できる。

Googleレンズはカメラに映したものを識別するという機能ですが、Google マップでこのアイコンをタップすると、現在地からカメラのレンズ越しの映像と地図情報を組み合わせて、どの方向に何があるのかを表示してくれる、まさにGoogleマップとGoogleレンズを組み合わせたような機能が起動します。
360度、付近にある場所を示してくれる。



Googleレンズ

カメラにうつした
ものを調べる



★ 「車での移動で便利」

燃費効率の良いルート案内 (Eco-friendly Routing)

EV充電ステーション情報の拡充

駐車位置の保存

渋滞情報の表示

オフラインマップの利用 (次ページ参照)

★便利な使い方

《片手でズームする方法【スマホ】》

◎トントンと2回タップすると拡大される そのまま手を離さず下へ移動
拡大
そのまま手を離さず上へドラッグすると縮小

《オフラインマップ》 <https://www.youtube.com/watch?v=4JPagW1cOdo> 引用URL

インターネット接続がない場所でも地図を利用できるように、事前にオフラインマップをダウンロードしておくことができます。海外旅行や電波の届かない場所で便利。



★現在地周辺のスポットの検索

現在地周辺のレストランやカフェ、観光スポットなどを簡単に検索できる。評価や口コミも表示されるので、行きたい場所を見つけやすい。

★視覚的な検索機能

AIと写真認識モデルを活用した新しい検索機能が追加され、特定の項目をマップで検索すると、関連する写真が表示されるようになった。

★（リスト保存）保存した場所を表示する

お気に入り

保存したルート



★googleフォトについて
変更箇所
使い方

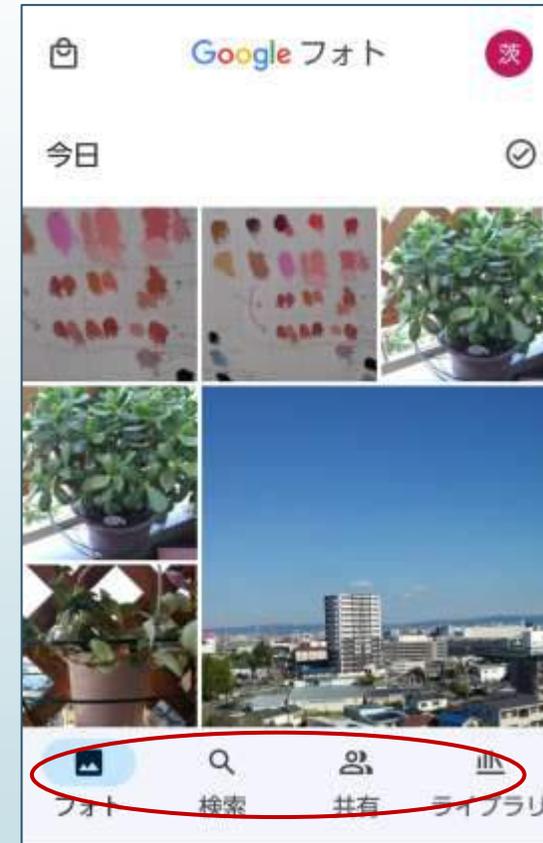
★googleフォト

(今の画面)



画面下部のボタンが3つです。

(以前の画面)

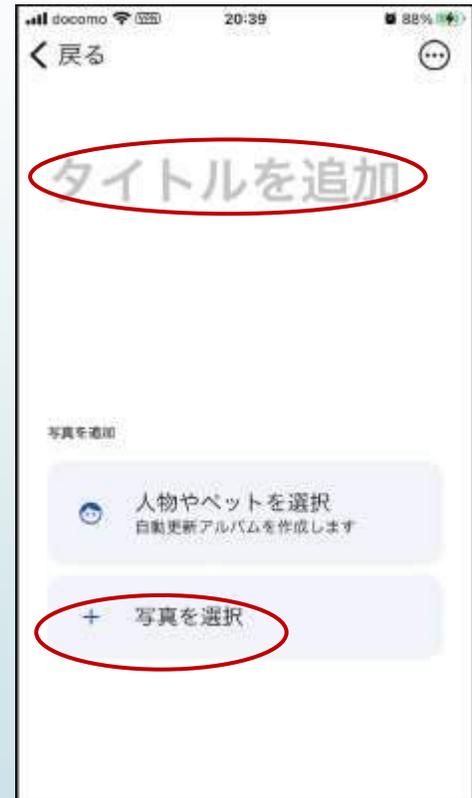


画面下部のボタンが4つです。

★googleフォト

アルバムの作成方法

(今の画面)



フォト画面の上の+マークをタップ
新規作成のアルバムを選択
タイトルを追加を入力する
写真を選択する

(以前の画面)

※R6,9の写真講座で質問を受ける
以前はライブラリの画面から操作
(設定方法)

1. 上にスライドして、アルバムの作成をタップ
2. 新しいアルバム + をタップ
3. アルバムのタイトルを入力し、写真を追加していく。



編集画面
消しゴムマジック

写真の不要な物を、消す



★電源ボタンの長押し操作について

<ネットで検索して調べる①>

Android13の初期設定として、「電源ボタンを長押し」の初期値が、Googleアシスタントを呼び出すに設定されています（Android12 --> 13で移行した人は初期値がオフのままです）
従来のように電源ボタンを長押しした際に、「電源を切る」や「再起動」を呼び出したい場合は以下の設定を変更して下さい。

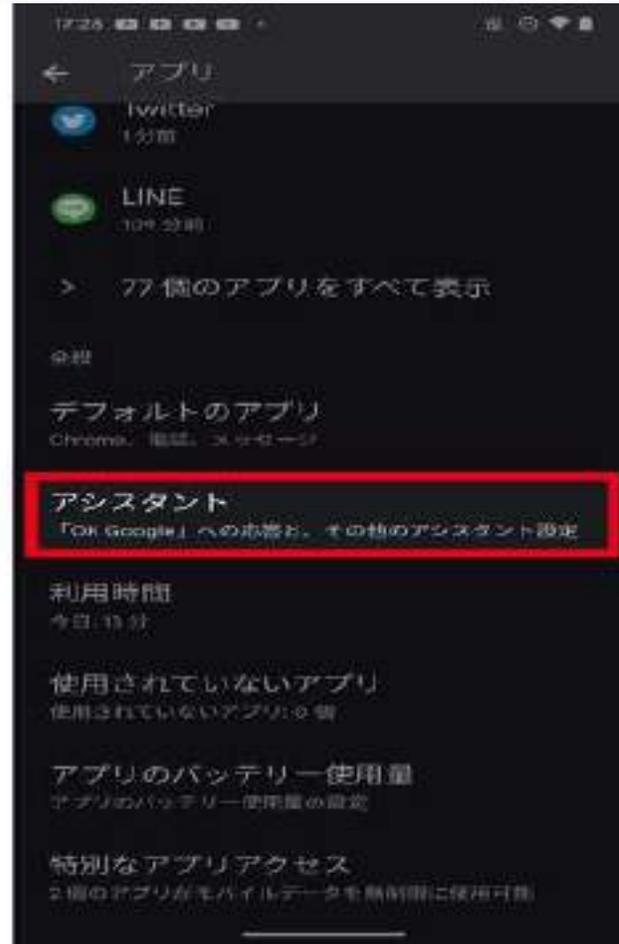
<ネットで検索して調べる②>

<https://www.itmedia.co.jp/mobile/articles/2303/25/news023.html>

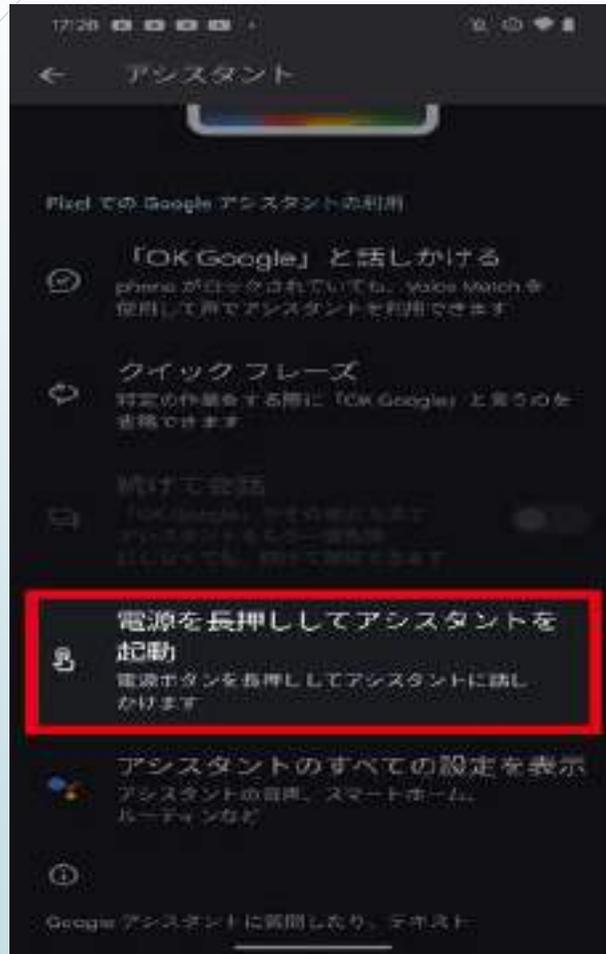
Android端末でGoogle アシスタントの「電源キー長押し起動」をやめる方法（次ページの図を参照）

R 6.5月講座で受講生さんから電源ボタンを長押ししてもシャットダウンできないので、見て下さい。という依頼をうける。（アンドロイドスマホ）
操作をみていると、メッセージが表示されて、googleアシスタントが
……
と表示されていた。
即答出来なかったなので、次回回答しますとその日は終了する。

「設定」 → 「アプリ」 → 「アシスタント」 → 「電源を長押ししてアシスタントを起動」



ラジオボタンを「電源ボタンメニュー」に設定
これでgoogleアシスタントは起動しない



★前回のことを機に、今後の為に「電源ボタンの操作」についてネットで調べる

<以前>

電源ボタンの機能 → 「スリープ」と「シャットダウン」

<今>

AndroidとiPhoneの電源ボタンには、いくつかの機能が追加される。
とくに、電源ボタンの長押しは変更されてる。



<長押し操作を表にまとめると下記の表のとおり>

操作	Android (機種による)	iPhone (X~)
1回押す	画面を消灯する (スリープ)	画面を消灯する (スリープ)
通常の長押し (2-3秒)	電源メニュー表示 または 音声アシスタント起動	Siri 起動
超長押し (30秒以上)	強制再起動	-

<シャットダウンは長押しから同時押しに変わっている>

操作	Android (機種による)	iPhone (X~)
電源と音量上げる の同時押し	電源オプションの表示	スクリーンショット撮影
電源と音量上げる の同時長押し (2-3 秒)	-	「スライドで電源オフ」 画面 緊急SOS起動 (さらに長く)
電源と音量下げる の同時押し	スクリーンショット撮影	-
音量上げ、下げして サイドボタンを長押し		「スライドで電源オフ」 画面 強制終了



◎電源ボタンの長押しは、音声アシスタントの起動が標準になる
(電源ボタンメニューにする場合は、No15,16参照)

◎受講生のかたにも、シャットダウンを「一度もしたことがない」というかたもおられ、定期的にシャットダウンするように指導しています。(色々リセットされスマホの動作がサクサク動くようになる)

<電源ボタンを繰り返し押す(カメラから決済機能へ)>

操作	Android (機種による)	iPhone (X~)
2回押し	カメラ起動など	Apple Pay起動
3回押し	-	スイッチコントロールのオン・オフ
5回押し	緊急SOS起動	緊急SOS起動
音量ダウンを 押したまま起動する	Fastbootモード	-
音量ボタンの上・下 を同時に長押し	トークバックのオン・オフ	

•スイッチコントロールは、体の不自由な方などが頭の動きや登録した音声や外部機器などでiPhoneを操作するための、アクセシビリティ機能の一つです。

•スマートフォンには、見ることが困難な方向への補助機能があります。「トークバック」がオンになると、画面のボタンを読み上げます。それだけでなく、画面が見えなくても操作しやすいように、独特のタッチ操作に切り替わります。

音量ダウンを押したまま起動すると.....・（Fastbootモード）
しかし、ついに音量ダウンボタンの故障で、通常の起動ができなくなってしまいました。
というのも、Pixel 3では音量ダウンを押したまま起動すると、「Fastbootモード（高速起動モード）」という起動モードになります。

<iPhoneの場合>

Fastbootモードから電源オフ



Point
電源と音量ダウンボタンを10秒長押しで
Fastbootモードの画面が表示される

音量ボタンの上下で
項目を選んで
電源ボタンで決定する

- Power off
- Start
- Restart Bootloader
- Recovery Mode
- Rescue mode
- Barcode

スイッチコントロールをオフにする



Androidスマートフォンでも機種によっては PayPayなどが起動できるような設定が追加されました。



<電源と音量ボタンの同時押し（スクリーンショット）>

操作	Android (機種による)	iPhone (X~)
電源と音量上げる の同時押し	電源オプションの表示	スクリーンショット撮影
電源と音量上げる の同時長押し（2-3秒）	-	「スライドで電源オフ」画面 緊急SOS起動 (さらに長く)
電源と音量下げる の同時押し	スクリーンショット撮影	-



<同時長押しで電源オフ→緊急通報 (iPhone) >



<Androidスマートフォンの場合>

Androidスマートフォンが反応しなくなった時でも、電源ボタン10秒以上押し続けると、強制的に再起動します。

Androidスマートフォンの場合、電源メニューが表示されます。

ここには「電源を切る」「再起動」「緊急モード」などの選択肢があります。

再起動を長押しすると「セーフモード」で起動できます。

